



安達幸子 プロフィール

学習院大学 文学部国語国文学科卒業

大阪学院大学大学院 国際学研究科修士課程終了 修士（国際学）取得

大阪学院大学大学院 国際学研究科博士課程 単位取得満期退学学習院大学（2002年3月）

1977年より、公益社団法人 国際日本語普及協会に所属。ビジネスパーソン、大学生、難民、高校生、年少者など様々な学習者を対象とした日本教育に従事。この間、国際交流基金及び国際日本語普及協会の派遣により、中国、タイ、サイパンに長期派遣。海外の大学、高校、そして日本人補習校でも教える。

1981年石川県で行われた「金沢を世界にひらく市民の会」に対する日本語支援ボランティア養成講座を皮切りに、国内各地はもとより、国際交流基金や国際協力事業団（JICA）の派遣により、ニューヨーク、ハワイ、ブリスベン、パース、ブラジル、ペルー、ボリビア、サイパン等で養成講座、研修会等を担当。

著書：『日本の生活』（共著 アジア福祉教育財団難民事業本部）

『Japanese for Busy People I』1st edition（共著 講談社インターナショナル）

『Japanese for Busy People 教師指導書』1stedition（共著講談社インターナショナル）

『旧版中日交流標準日本語 初級 上・下』『旧版中日交流標準日本語中級 上・下』

『中日交流標準日本語 会話編』（共著 人民教育出版社）

『日本語教授法ワークショップ』（共著 凡人社）

『Japanese for Young People』シリーズ（共著 講談社インターナショナル）

『WADAIKO—An Introduction to the Sounds and Rhythms of Japanese』（共著講談社アメリカ）

『Reading Road—多様な日本を読む』（共著 くろしお出版）

AJALT ワークショップ1 タイトル：日本の音と心に触れる

どんな言語でも入門期にもっと大切なことは、よい発音の土台を身につけることでしょう。歌や詩、俳句などを材料にして、ことば遊びを楽しみながら、音

リズムをまるごと体得する方法を提案いたします。ことばを学ぶ面白さを知
ることは、その奥にある日本の心に自然に触れることにつながっていきます。

AJALT ワークショップ 2

タイトル：多様な日本を読む

みなさんの初級クラスは「話す」ことを中心にし、「読み」「書き」については、
習った表現や文型を書写したり、音読したりするだけで済ませていませんか。そ
のような学習が続くと、中級へとレベルを上げていくことが難しくなります。

ある程度の基本的な初級文型や表現を習得したら、未だ初級半ばであっても
学習者がすでにもっている知識や、想像力をも総動員させてチャレンジできる
「読み」を提供することが大切です。

40 年余りに渡り様々な教室で教えて来た講師が、近刊の 2 冊のテキスト
『WADAIKO—An Introduction to the Sounds and Rhythms of Japanese』と
『Reading Road 多様な日本を読む』から具体的な例を挙げ、学習者に満足し
てもらえる「ことば遊び」と「読み」の秘訣を惜しみなく、公開します。